

令和5年1月16日

資料提供(県政・御坊・新宮記者クラブ同時提供)

AR(拡張現実)技術を用いた防災学習の実施について

和歌山県土砂災害啓発センターは、小中学校等において土砂災害に関する防災学習に積極的に取り組んでいます。

この度、土砂災害の学習において不可欠な地形や等高線の理解を深めるため、AR(拡張現実)技術を用いた新しい学習コンテンツ「AR 砂場」を和歌山工業高等専門学校と共同開発しました。

「AR 砂場」は、砂の形状を地形に見立て、砂が変形すると砂に投影した等高線や標高別の配色も合わせて変化します。

この「AR 砂場」を活用した防災学習を日高川町立山野^{さんや}小学校、那智勝浦町立市野々^{いちのの}小学校において、下記の日程で行います。

記

1 日時 ①令和5年1月20日(金) 13時50分～15時25分
②令和5年1月27日(金) 13時40分～15時15分

2 場所 ①日高川町立山野小学校(日高郡日高川町山野538)
②那智勝浦町立市野々小学校(東牟婁郡那智勝浦町市野々2604)

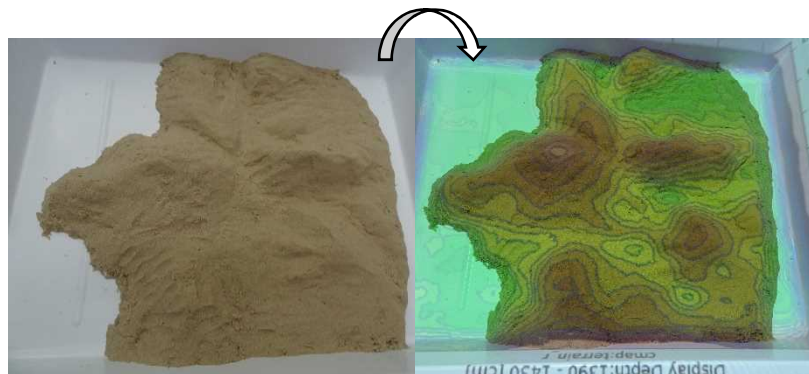
3 対象 ①5年生7名 6年生3名 計10名
②5年生5名 6年生7名 計12名

4 内容

- ・AR 砂場を用いて、地形と等高線の関係や学校周辺の土砂災害のおそれのあるところの地形的特徴を学びます。
- ・その他、土砂災害の種類やハザードマップに関する学習、土砂災害に関する実験等も実施します。

※ AR (Augmented Reality : 拡張現実)

コンピュータを使い、現実の風景の中に情報を重ねて表示します。(出典:総務省)



「AR 砂場」による等高線投影の様子

お問い合わせ先	
担当	① 和歌山県土砂災害啓発センター ② 砂防課
担当者	① 稲田・筒井 ② 坂口・宮田
電話番号	① 0735-29-7531 ② 073-441-3171